



建築ふくい

家づくり 街づくり 人づくり

一般社団法人 福井県建築組合連合会

祝！【建築ふくい】奨励賞 **2**面
おごと教宣大学 **3**面
嶺南ブロックソフトバレーボール大会 **4**面
備える **5**面

http://www.kenchiku-fukui.com
e-mail: info@kenchiku-fukui.com



発行／(一社) 福井県建築組合連合会 〒910-0859 福井市日之出5丁目4番7号 電話 0776-54-2615 FAX 0776-54-8878 発行人／竹島正和 編集／教宣委員会

全建総連 7.12 賃金・単価引き上げ、 予算要求中央総決起大会の開催



雨の中、盛大に開催された中央総決起大会

7月12日、東京日比谷公園大音楽堂において、全国46県連組合の仲間と大会関係者総勢2001名が出席した全建総連中央総決起大会が雨天にもかかわらず盛大に開催された。福井県連からは、竹島正和会長と私が出席した。

次いで主催者を代表して、中西中央執行委員長が、物価高騰やインボイス制度の影響で疲弊している全国の組合員へのねぎらいと「改めて組織強化のためにも、しっかりと賃金・単価の引き上げ、予算要求をし、魅力ある建設産業にしよう」と執行部の姿勢を参加者に示した。

明を述べた後、各政党からも多くの来賓者のあいさつがあり、建設業界にとっても力強い言葉があった。次に、勝野書記長より基調報告があり、現状の経済情勢や今後の方向性、予測など組合員にとって有益な情報が発信された。各県連からの参加者は、雨で椅子が濡れている会場

地元国会議員に対して、 令和7年度国保組合予算確保を要請

7月25日・26日に全建総連予算要求行動、地元国会議員に対する建設国保の予算確保を中心とした協力要請に、竹島会長とともに参加した。

福井県連としては、山崎正昭参議院議員、稲田朋美衆議院議員、高木毅衆議院議員、滝波宏文参議院議員を訪問し、「公費助成の拡充」「国保組合に対する国庫補助の現行水準の確保」

そして「建設国保の育成・強化」を要請するとともに、福井県建築業界の現状と課題など意見交換をした。建築業界が抱える問題を解決するため、要請訪問を行った。

交換を行うこととなった。全建総連予算要求行動においては、全体会議の後、厚生労働省保険局に対して要請訪問を行った。今後も粘り強い活動

副会長

南 信博

にもかわならず、熱心に耳を傾けた。休憩の後、決意表明として、全国青協の役員が壇上に上がり、元気がよく声高らかに発言した。

最後に決議の提案があり採択され、「ガンバろう」のかけ声で会場が一つになって、拳を突き上げた。

中央総決起大会が閉会した後、会場内外の各所で県連役員同士の意見交換が行われており、互いの県連の近況報告や他県連の情報などを収集していた。

副会長

南 信博



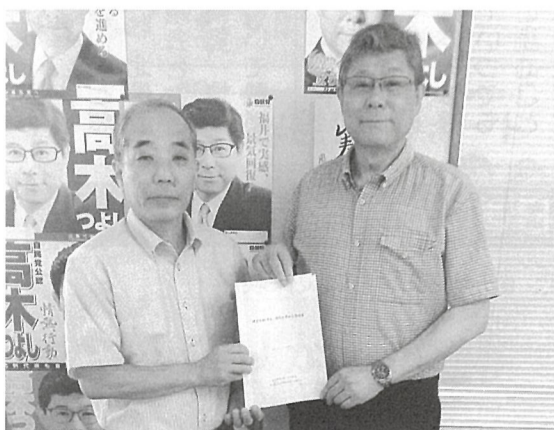
稲田衆議院議員



山崎参議院議員



滝波参議院議員



高木衆議院議員

全国組織部長会議



福井県連がどうあるべきかについて語る南副会長

7月29日・30日に、東京ワイム貸会議室高田馬場にて、第64期全建総連全国組織部長会議が38県連106人参加で開催されました。

まず心に残ったのが、竹谷組織部長の基調報告の中で「訪問行動が必須」という言葉でした。人口減少に伴う建設従事者の減少、脱退など非常に厳しい減勢基調が続く中で、仲間との顔の見えるつながりを強化するためには、なかなか実施

できていない訪問活動を展開することが重要だと感じました。

全体学習として、埼玉県と山口県より、組織の強化や拡大の仕組みについて勉強しました。

次に経験報告として、福井県連の南副会長より「会員に愛され、建築従事者が憧れ、そして行政・他団体から信頼される存在、日本一の建築集団を目指す」というテーマに、今後の福井県連がどうあるべきかについて、5年以内に取り組むべき新たな試み、挑戦を実現するために「訪問行動」について、発表がありました。その他、静岡県と東京都の仲間からも経験報告があり、質疑応答の時間が設けられ、1日目が終わりました。

2日目はテーマ別に分かれての分科会でした。

私は「青年・子育て世代の育成強化」についての分科会に参加しました。21人の参加で45人1班で、訪問・対話の進め方について、組合員初訪問した際のやり取りを、役割別の台本をもとに実践しました。こんな場合は自分だったら...とアレンジも加えて、最後にそれぞれ発表をして終了となりました。

情報共有の場として、有意義な2日間でした。

青年部長
土田 洋輔

全国の仲間が終結!



活発な質疑応答で盛り上がった全国青協交流会

7月7日・8日に、石川県金沢市の金沢市文化ホールにて第31回全国青協交流会が開催されました。

全国から44県連190人が集結し、会場は全国の仲間たちであふれかえりました。

会場に着くとすでに班が決められており、14人1班で2日間活動しました。

初日は全国を代表して、神奈川県、奈良県の特別報告を聞き、質疑応答の時間では、たくさん質問や意見が飛び交いました。

その後、石川県連と富山県連の能登半島地震についての報告を聞きまし

た。特に、石川県連の谷内さんの震災時のリアルな状況を聞き、深く心を打たれました。

活動報告の後は班活動として、みんなで持ち寄り写真などの素材を活用して、動画編集をしました。SNSが広がり、動画需要が増えていくことが明白な昨今、私は動画編集などが苦手な方ですが、とても勉強になる有意義な時間でした。そして、とても素敵な動画が1本完成しました。

夜は、全国の仲間と懇親会をした後に、北信越の仲間とも懇親会をしました。各県の情勢、悩みや活動状況について熱く

意見交換をすることができました。

2日目は、兼六園を散策して、石川県伝統の和菓子づくり体験という貴重な体験をさせていただきました。全国の仲間とも交流でき、北信越の仲間とはさらに仲が深まりました。

次回の全国の大会が楽しみですね。

青年部長
土田 洋輔

祝! 「建築ふくい」奨励賞



全建総連機関紙コンクール「奨励賞」

全建総連機関紙コンクールに応募した我が機関紙「建築ふくい」が、2023年9月20日号が、奨励賞を受賞し先日表彰されました。

この奨励賞はというと、最優秀賞がトップとすると上から5番目の賞。それでも輝かしい賞であることには変わりありません。

私が担当になる前の応募なので、これと審査基準を調べて見ると、

1. 企画・レイアウト・編集、2. 内容・指導性・訴求性、3. 投稿・集団編集の、3項目が審査基準のようです。

その中でも気になったのが、2.の項目。訴求性の範囲になるのかな? 「仲間の半歩先を行く話題の提供」。この内容を的確に掲

載されたら、これは凄いことですよ! 「建築ふくい」があなたを未来へ導く。まさに夢中になって読みたくなる内容です。

ここで一番の問題が、この受賞された機関誌をどれだけの組合員さんが読まれているか。いくら受賞されるほど優れた機関誌でも、組合員さんに見て貰わないと宝の持ち腐れです。この辺の対策が急務かも知れないですね。

各組合・事務局でス

トップされることがなく、確実に組合員さん全


員に配布されること。今や財布よりも大事な携帯電話。そのモバイル通信を使い、紙媒体ではなく電子データでいつでもどこでも気軽に読むことができる。近い将来確実にそんな時代が来るでしょう。

半年先を見据えた組合員にとってお得な情報、もちろん新鮮な各支部および全国の事業報告も大事。より興味が湧く情報を提供し、多くの皆さんが読み親しんで貰える機関誌を作っていきたいですね。

教宣委員長
杉谷 光由

毎月27日の口座振替日までに入金を!

今年の1月もしくは4月から希望組合より順次、健康保険料・労災保険料・共済費を組合員指定登録口座から引落しを開始しております。他の引落しもあり残高不足等で引落し不能者が毎月続いております。月初めに請求書を送付していますので金額を確認いただき、毎月27日(27日が金融機関休業日の場合は翌営業日) までには入金をお願いいたします。



全建総連 第50回教宣大学の開催

7月3日から5日にかけて滋賀県大津市雄琴の琵琶湖グランドホテルにて第50回おごと教宣大学が開催されました。

第50回にあたる今回は5年ぶりの2泊3日対面開催でした。教官委員を代表して、坪田副委員長と私が初めて出席しました。

まずは5〜8人一組のグループに分かれましたが、初めて会う人ばかりで緊張しました。

会場で参加者一人ひとり自己紹介をした後、各教室に入り取材・原稿の書き方についてベテラン



5年ぶりに対面開催された教宣大学

講師が親切に教えてくれました。夜遅くまでの書き方の練習でものすごく疲れました。(ちやちや)

2日目は新聞づくりのため取材に行くことになり、いくつか取材先があったのですが私は琵琶湖遊覧船・ミシガン号に決めました。

ミシガン号は琵琶湖観光を代表する大型船で、定員787名も乗れると聞きびっくりしました。客船内はまるでベルサイユ宮殿を思い浮かべるくらいとても素晴らしい造りでした。

元々アメリカミシシッピ川を往来していた豪華で優雅な蒸気船をモチーフにしたようです。

この船の特徴は、スク

リユーで動くのではなく船尾にある赤いパドル(外輪船)で動くことにちよつと驚きました。羽をクルクル回し船を動かしているとても珍しい動きをした船でした。

教室に戻り、取材したことの機関紙作りで初日同様、夜遅くまでかかり

最終3日目は今日までの感想文を書き何とか教宣大学終了。とても大変

6月18日・19日に滋賀県草津市で中建国保ブロック研修会が担当の滋賀県支部主催で開催され、各加入支部から7支部19名が出席しました。

まずは滋賀県支部長のあいさつ、出席者全員が自己紹介した後、研修会に入りました。

今回の研修課題は4つあり、中建国保を取り巻く状況・保険給付事業にかかわる制度改正・被保険者証廃止に伴う今後の対応・第3期データヘルス計画について研修を受けました。

その中でも「被保険者証廃止に伴う今後の対応」が事務方としての前に、使用者として1番気にもなり保険証がなくな

ることはとても不安です。

以前から取り上げられていたマイナ保険証への移行に伴い現行保険証が12月2日に原則廃止と正式決定され新規発行されなくなり。医療機関を受診する際は、マイナンバーカードを利用したオンライン資格確認による受診が基本となります。

マイナンバーカードを持っていない人・持っているも保険証利用登録をしていない人・カードを紛失・更新中の人には現行保険証と同じサイズの「資格確認書」が交付されます。

記載内容は、被保険者証から資格確認書と名称

で書くのに精いっぱいでした。

「鬼の教宣大学」とはよくいったものだと思いましたが、少しは勉強になったので建築ふくいに活かしていきたいです。また機会があったら行きたいと思いました。

教官委員
五島 慶二

中建国保 東海・北陸・関西ブロック研修会

現在お持ちの被保険者証は、令和7年3月31日まで使用できますが、4月以降はマイナ保険証の有無により、全ての組合員・家族に「資格確認書」もしくは「資格情報のお知らせ」を交付すること

が変わるだけのようです。

マイナンバーカードを持っていてマイナポータルから保険証利用登録をしている人には、「資格情報のお知らせ」が交付されます。

事務局として寄り添った対応をしていきたいと思っておりますので、ぜひともご協力をお願いいたします。

中建国保事務職員
笠川 恵美子



マイナ保険証への移行などについて研修を受ける事務職員

NEW

安心の保障と生活応援であなたのくらしを支える

こくみんサポート

一人一人に寄り添った最適な保障設計をサポート

保障設計サポート

簡易シミュレーションによる保障設計や、各共済の資料請求、各種手続き、共済金のご請求などをご利用いただけます。

※WEBサイト(PC等)からもご利用いただけます。

組合員特典価格等でもしもの事前・事後や生活全般をサポート

生活設計サポート

「人」「家」「車」の保障分野における事前の備え・事後のフォロー、ライフイベント・生活全般までトータルにサポートするサービスを組合員特典価格などでお得にご利用いただけます。

ご利用は公式アプリから!

公式アプリをご利用いただくためには、こくみん共済coopのマイページ登録が必要です。未登録の方はアプリインストール後、「ログイン・登録」画面から登録できます。

お問い合わせはこちら

こくみん共済 coop
福井推進本部

TEL 0776-26-6187

営業時間 平日 9:00 ~ 17:00
(土・日・祝日、12月30日~1月3日は休業)

たすけあいから生まれた保障の生協です。「こくみん共済coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

福井推進本部
(福井県労働者共済生活協同組合)
たすけあいの輪をむすぶ
こくみん共済
全国労働者共済生活協同組合連合会 coop